

議会だより

定例会

令和2年第3回定例会は9月10日に招集され、提出された案件を審議し14日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 7月21日

■ 調査事項 農業後継者及び担い手対策の状況について

■ 調査結果

・新規就農者の一次受入用の住宅の建設について検討願いたい

・現在の担い手対策、新規就農者の取り組みについて、成果は上がっているが事業内容について今一度検証を行い、今後の事業の重点をどう置くか等方向性について検討を願いたい

■ 調査期日 8月26日

■ 調査事項 ひまわり油原料のひまわり作付状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

承認

○専決処分の承認を求めるこ

とについて〔令和2年度北竜町一般会計補正予算(第6号)について〕

・既定予算に20,810千円を追加し、総額を3,742,688千円とする補正予算

同意

○教育委員会委員の任命について

11月3日任期満了のため

任命に同意

寺垣 信晃 氏(再)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

10月31日任期満了のため

任命に同意

高橋 孝行 氏(再)

原案可決

○北海道市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について

○北竜町防災行政無線施設設置条例の制定について

○令和2年度北竜町一般会計

補正予算(第7号)について

・既定予算141,676千円を追加し、総額を3,884,364千円とする補正予算

○令和2年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算に715千円を追加し、総額を102,411千円とする補正予算

○令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

・既定予算に428千円を追加し、総額を38,628千円とする補正予算

○令和2年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

・既定予算に13,615千円を追加し、総額を336,115千円とする補正予算

○令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について

・既定予算に1,940千円を追加し、総額を473,360千円とする補正予算

○令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について

・既定予算に4,761千円を追加し、総額を1114,194千円とする補正予算

○令和2年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について

・収益的収入で230千円を追加し、総額を69,421千円とする。収益的支出で1,542千円を追加し、77,426千円とする。資本的支出で39千円を追加し、125,208千円とする。

認定

○令和元年度北竜町一般会計外6会計(国保・診療所・後期高齢・介護・特老・集落排水)の歳入歳出決算認定と令和元年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について

・決算審査特別委員会(藤井雅仁委員長)を設置し、その審査を付託、休会中に審査を行い認定されました。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確

保を求める意見書
○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

○種苗法改正案の慎重な審議を求める要望意見書

一般質問

9月10日に開会された第3回定例会では、1名の議員から1件の一般質問がありました。



尾崎議員
北竜町農産物直売所「みのりつち北竜」の今後の経営について

尾崎議員

2012年(平成24年)5月に開店した農畜産物直売所「みのりつち北竜」は今年経営8年目である。例年収穫が見込まれる5月から10月までの経営ではあるが、出荷者・店長はじめスタッフの努力により町内外を問わず固定客に恵まれ、北竜町の農産物直売所として親しまれる存在になっている。

町の助成を受けながらの経営で徐々に助成を減少させ、10年を目前に生産者が主体となって経営すると認識してい

たが、実際はどうであったのかを確認したい。

町からの具体的な「意思表示」のない中で生産者に経営が移ることにはならないと思うがいかがか。

今後の経営の行方を考え進める時期と思われるので、理事者の考えを伺いたい。

佐野町長

「みのりつち北竜」の運営については、開設時より将来的には生産者による自主的な運営を目指すこととしており、いずれは振興公社の手を離れ生産者に移行することが

望ましいと考えている。

年々売り上げの増加により委託料も当初から大幅に減少してきている現状において、生産者より申し出があれば今後の運営について協議していきたいと考えている。

尾崎議員

店舗の所有は町であるならば、生産者団体に「委託」するか、生産者団体が町の施設を借りて家賃を払うのか、具体的にどうなるのか。

佐野町長

詳細は以後経営を受け持つてもらえる申し出があれば話し合い決定していく。

尾崎議員

当時直売所建設に関して町民との意思疎通が不鮮明不十分だったと記憶する。

国からの助成金の流れでの不要な直売所建設という批判から、「経営存続に関しては町と恩恵を受けた農家が考えればよい。」更に「野菜は作るのが楽しいので売り場があるなら利用しても良いが、経営が難しくなり、その後直売所が撤退しても自分には関係ない。」との当時厳しい意見が鮮明に残る。

経営の節目の時期を前にしているなら町の方向性をはっきり示す必要があると思う。

佐野町長

直売所の経営を受けてくれる生産者がいるとすれば管理、運営について担当職員と話し合いをし、協議・検討し

活動報告

【10月】

- 1日：北空知広域水道企業団臨時総会、北空知学校給食組合臨時総会、北空知衛生センター組合臨時総会、深川地区消防組合臨時総会
- 8日：北空知地区監査委員・補助職員研修会(監査委員)
- 15日：空知町村議会議長会第2回定期総会
- 19日～20日：議会議員特別セミナー
- 20日：例月出納検査(監査委員)
- 23日：総務産業常任委員会、まちづくり等調査特別委員会、全員協議会
- 25日：村井宣夫氏旭日双光章

活動予定

【11月】

- 16日：北海道後期高齢者医療広域連合第2回定例会
- 18日：北空知議長連絡協議会総会、監査委員研修会(監査委員)
- 25日：全国議長大会
- 下旬：総務産業常任委員会、例月出納検査(監査委員)、財政援助団体に対する監査(監査委員)、公の施設の指定管理者監査(監査委員)

受賞祝賀会

- 29日：北海道町村議会議公務災害補償等組合決算審査
- 30日：第6回北空知J R留萌本線問題検討会議

ていきたい。果菜類が一定量入れば売り上げは伸びるので確保できるように働きかけをし、又、町民全員の直売所なので工夫をしながら、このコロナ禍新しい生活様式の中で新たな仕組みを考えていく必要があると思っています。



議員の賛否の公表

(北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和2年第3回定例会(会期:9月10日~14日)

○:賛成 △:意見を付与して賛成 □:修正を求め賛成 ×:反対 -:議長の為賛否無し

| ▽議 案 件 名 | 中村 | 尾崎 | 北島 | 小松 | 小坂 | 松永 | 藤井 | 佐々木 |
|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----|
| 専決処分の承認を求めることについて [令和2年度北竜町一般会計補正予算(第6号)について] | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北海道市町村総合事務組合規約の変更に関する協議について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更に関する協議について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 北竜町防災行政無線施設設置条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町一般会計補正予算(第7号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 令和2年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第2号)について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - |
| 本会議における質疑の件数 | 質疑 1件 | 質疑 0件 | 質疑 0件 | 質疑 6件 | 質疑 1件 | 質疑 2件 | 質疑 0件 | - |

決算審査特別委員会(9月10日~11日)

○:賛成 △:意見を付与して賛成 □:修正を求め賛成 ×:反対 -:委員長・監査委員の為賛否無し

| ▽委 員 会 付 託 案 件 | 中村 | 尾崎 | 北島 | 小松 | 小坂 | 松永 | 藤井 | 佐々木 |
|--|----------|----------|----------|----------|----|----------|----|----------|
| 令和元年度北竜町一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 令和元年度北竜町簡易水道事業会計決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ |
| 決算審査特別委員会における質疑の件数 | 質疑 6件 | 質疑 2件 | 質疑 3件 | 質疑 1件 | - | 質疑 4件 | - | 質疑 6件 |

決算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

| 質疑内容 | 答弁内容 |
|--|--|
| <p>・ひまわりの里基本計画策定事業について 令和元年度に4回のひまわりの里基本計画策定委員会が行われてきた。新型コロナウイルス感染症の影響があるとはいえ、最終計画を示す第5回の策定委員会の開催がされていない状況で、事業残があるにもかかわらず、委託料の予算執行が行われるのは不適切である。早急に最終の策定委員会を開催し、事業成果を示してもらいたい。</p> | <p>アドバイザーが東京在住なので、来町できなかった。予算的なものは担当に来てはいるが、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から予算の再考が必要になると思う。 計画については、行政懇談会で説明していきたいと思う。町内各団体にも説明する予定、町民の意見を求めていきたい。10月末に町内会への懇談会、その前に各団体に説明する予定。来町不可の場合アドバイザーなしでの策定委員会開催を考えている。インバウンドの受け入れも考えていきたい。 生活の中に新型コロナウイルス感染症を受け入れる時代が来ると思う。</p> |
| <p>・地域公共交通について 議員も理解していないところがあるので、総務産業常任委員会で協議を行いたい。他の町との比較等調査を行いたい。</p> | <p>バス路線でもある深川・滝川線について、現在多くの助成金を出しているが、バス購入の町負担の話もあるので、直営での運行についても検討しなければならない。</p> |

収穫作業も終え一段落といったところである。昨冬は積雪も少なく、春作業も順調に進んだところであるが、六月の天候不順に憂慮した。米は、一時水不足が心配されたが適切な交代水の対応、そして七月の好天に恵まれた。収穫してみれば、作況は「良」品質もまずまずの結果であった。しかし、低米価基調であり、収量増と高品質米でカバーできることを期待する。ソバは、外食産業そば店の不況により、昨年産の在庫を抱え、各地域での「そばイベント」の中止などにより、新ソバの価格は低価格極まりない。そんな折ではあるが、セブンイレブンが、JAきたそらち産玄ソバを使用したソバを期間限定で販売を始めた。是非賞味してほしい。新型コロナウイルス感染症

は落ち着きつつあるものの、終息は難しいようである。GOTOキャンペーンも行われ、共生していかねければならない。ワクチンも来年早々にといわれており、治療薬と共に効果を期待する。インフルエンザと症状が類似していることから、インフルエンザ予防のためワクチン接種の施策をしているので、全町民が接種し自衛してほしい。

「コロナに、罹るかもしれないが【第一号】にはなりたくない。」という声を耳にする。みんながその気持ちでいれば、基本的な対策や適切な行動により防げるものと思う。しかし、残念ながら絶対大丈夫という保証はなく、不運にも罹患者が出た時に誹謗中傷することはやめよう。

（中村尚一）

